



人権学習の授業（3年生）がありました。

6月26日(水)3限目に、反差別・人権研究所みえ（通称:ヒューリアみえ）の職員の方によるメディアリテラシーに関する人権学習がありました。メディアリテラシーとは、テレビや新聞などのマスメディアやインターネットから受け取った情報を主体的に読み取る能力や情報を取捨選択する能力をさします。実はインターネット上には、正しい情報ばかりではなく、誤った情報（フェイクニュースといいます）がたくさんあげられていて、技術革新が進んだ今、子どもたちもそういった情報を簡単に見ることができ、偏見や差別の心を蓄積してしまうことも考えられます。

学校でもタブレット端末を使い、授業で調べ学習等に使うことが日常的になってきました。全国的には、スマートフォンを持つ小学生が増え、オンラインゲームやSNS、メールのやり取りを行うことによるトラブルも起こっています。本日の授業では、インターネットを使用する時にも「相手の人権を大切にすること」という意識を持つこと、場合によっては、人が「生きる」ことを奪ってしまうこと、「大切ないのち」までもが奪われてしまうこと、を伝えていただきました。

勝手な理由で、人の大事な人権や自由を傷つけて奪わないように、これからも意識を持って考えていきましょう。



水泳授業が終了しました。

6月17日(月)から始まった各学年3回の水泳授業ですが、7月3日(水)3・6年生の水泳授業をもって、すべて終了しました。今年度から本校は、民間プール（四日市スイミングクラブ）を利用した水泳授業となりました。当日の天候や熱中症指数に左右されることなく、計画通り水泳授業を行うことができました。これまでは、暑い日で晴天なのに熱中症指数が基準値を超えているため水泳指導が実施できなかつたり、雨天が重なって学年によって実施回数に差ができてしまったりということが起こっていました。今年度はそういった心配をすることなく、水泳授業が実施できて良かったと思います。四日市スイミングクラブの皆様には丁寧に指導してもらい、3回の指導で泳ぎの上達した子どもたちが多く、「私もスイミングに行き泳ぎを習いたーい」と、保護者にせがんでいる子どもも何人か出てきているようです。

保護者の皆様には、水泳授業時の水着やタオルの準備など、本当にありがとうございました。今後、今年度の民間プール利用に関するアンケート調査が行われる予定です。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



第2回きらら委員会(コミュニティスクール運営協議会)が開催されました。

7月2日(火)、第2回きらら推進委員会(コミュニティスクール運営協議会)が開催されました。この会議は、学校教育目標『自分の考えをしっかりと、最後までやりぬく子』を達成するため、学校が行っているさまざまな教育活動について、地域の代表の皆様からご意見をいただき、学校運営にいかしていくための場となります。校長から1学期の行事を中心に、子どもたちの日常生活の様子について、紹介をするとともに、委員の皆様は日頃の教育活動について、お気づきの点を討議していただきました。



委員の皆様からは、「子どもたちがタブレットを使って活動の様子を上手にレポートにまとめている」「朝の登校時に元気がないように感じられる」「考える力や感じる力がついてほしい」「スリッパをそろえる、あいさつができる等、基本的なことができるようになってほしい」「子どもたちは、人(相手)に対してやさしい声かけができている」等のご意見をいただきました。人と人とが関わることを通し、考えたり感じたりすることで、子どもたちは成長をしています。学校教育においては現在、非認知能力(好奇心、がんばる力、コミュニケーション能力、誠実さ等の数値ではかれない力)が注目をされています。水沢地区ならではの特色をいかした教育活動を推進していきたいと考えています。

「きらら委員会」に先立ち、市教委教育総務課の職員の方々に来ていただき、「第1回水沢小学校のみらいを考える会」が開催されました。きらら委員の皆様に加え、水沢地区の未就学児の保護者代表2名、学識アドバイザーとして三重大学教育学部教授1名にも参加いただき、今後の水沢小学校のあり方や方向性について活発な意見交流が行われました。

(文責 北住 昌文)